

私は今度すぐにも研究推進チームの出している問題冊11-フレットを見たいと思いました。とても刺激的な時間でした。

また、私は英語教育推進委員として今年度かわらせていただいたことを改めて幸せなことと感じました。なぜなら、素晴らしい先生方とともに研究できたからです。私はあまり貢献できなかったですが、自分ももっと研究を積んで、発信できることができたかなと思いました。本当にありがとうございました。

理科のお話し、外国語のお話しも、どちらとも、中学校との連携を大切に考えていかなければいけないと感じました。

岩城先生のお話しでは、自分が担任している学年の学力をもう一度確認し、推進チームのTIPのプリントを活用しながら、子どもたちの力をつけていきたいと感じました。

小中の系統性をふまえて、学習指導を進めていくことが大切であると感じた。DVDは、すぐに活用できるように工夫されているので、誰でも使えるように、学校で共有したいと思う。英語での活用方法が具体的に分かり、とても参考になった。また、指導講話で教えていただいた、単元確認問題は、すぐに使いたいと思った。PDCAサイクルの確立させ、子供たちの学力向上につなげたいと思う。

・理科では、課題把握、予想、実験、結果の考察、感想、質問などの一連の流れを4年間を通して身につけることを学びました。

・英語では、高岡イングリッシュセミナーの活動内容を学んだ。異文化とコミュニケーションの楽しさについて学んだ。Eブックの内容について学んだ。自分たちの文化を知る大切さを学んだ。小中の連携の大切さを学んだ。Cリリについても学んだ。
connect

実際に授業をしていたり丸つけをしていたりする中で足りないな...と感じる力についてのお話しがたくさんありました。学力調査の問題をやらせてみると全然できずに心配しているところでした。ですから、具体的な問題をもとに解説していただけて、ワークシートの活用の仕方を教えていただけ、とてもありがたかったです。学校に戻って、さっそく確認し、日々の学力向上に、子供たちのためにつなげたいと感じました。

理科のワークシート、系当表はどれもとてもありがたいなと思いました。



ありがとうございました。